

4 教科目の履修方法

1 総合子ども学科 1年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	英語コミュニケーション		2
	体育Ⅰ	2	
	体育Ⅱ		1
保育士養成課程 必 修 科 目	保育原理		2
	教育原理	2	
	児童家庭福祉	2	
	社会福祉	2	
	社会的養護		2
	保育の心理学Ⅰ	2	
	保育の心理学Ⅱ		1
	子どもの保健Ⅰ a	2	
	子どもの保健Ⅰ b		2
	子どもの食と栄養		2
	保育内容総論	1	
	保育表現技術・楽典		1
	保育表現技術・ピアノⅠ	1	
	保育表現技術・造形Ⅰ	1	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	保育表現技術・声楽Ⅰ	1	
	保育表現技術・ピアノⅡ		1
	保育表現技術・造形Ⅱ		1
必 修 科 目	実習基礎技能Ⅰ	2	
	実習基礎技能Ⅱ		2
	キャリアデザインⅠ	1	
選 択 科 目	教育課程総論		2
	国語	1	
	保育に生かすやさしい手芸		1
	クラスルーム／併修学習Ⅰ a・Ⅰ b	1	1
合 計 単 位 数		21	21
		42	

科 目	英語コミュニケーション	講 師	玉置 充佳
授業目標	英語の歌、絵本、ゲームを使ってレッスンが出来るように 教室で使う英語の練習		
授 業 の 画 計	1. 英語で自己紹介 歌 2. 数 歌 3. 曜日・月 歌 4. 色 歌 5. ABC Phonics 歌 Test 6. I like…動物 歌 7. I want…果物 歌 8. I have…名詞 歌 9. I can…動詞 歌 10. Halloween 歌 Test 11. Christmas 歌 12. Valentine's 歌 13. Chants 歌 14. Chants 歌 Test 15. 発表		
教科書 及び 参考書	教科書……プリント配布 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度・ノート提出・発表		

科 目	体育 I	講 師	入江 由香子
授業目標	子どもから成人、高齢者まで誰もが願うことは健康で豊かな生活である。特に子どもの成長著しい時期に、成長や発達を妨げず食事・遊び（運動）・休養（睡眠）・病気にならない身体づくりなどの学びは必要不可欠である。本授業では、健康な子どもを育てるために大切な基本的な心身の発達段階、身体の仕組み、学習意欲、コミュニケーション力などを講義で学び、実際に子どもに対して指導を行う心構えを身につけることを目標とする。		
授 業 の 画 計	1. オリエンテーション（実技と講義の諸注意、個人票の記入など） 2. 健康の定義、体力について 3. 日本人の健康状態について（子どもから高齢者まで） 4. 体力テスト、形態測定について 5. 新体力テスト（長座位体前屈、閉眼片足立ちなど）、ストレッチ 6. 新体力テスト（握力、上体おこしなど）、ストレッチ 7. 体力テストの振り返り 肥満、生活習慣病、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、フレイルについて 8. レポートの作成の諸注意と課題作成（短大レポート）① 9. 効果的な運動法（有酸素運動と無酸素運動） 10. 子どもの食事・食育について 11. 課題作成（短大レポート）② 12. 課題作成（短大レポート）③ 13. フィットネスプログラム 14. まとめと定期試験について 15. 定期試験		
教科書 及び 参考書	教科書……①短大指定の教科書 ②『健康生活と運動』小笠原正志編 株式会社エスアイエス 参考書……なし		
評 価 の 方 法	実技20%（全出席、積極性、意欲、チームワークなど）、レポート課題20%、定期試験60%による総合評価 *実技と講義の両方の授業を行います。出席重視のため欠席をしないこと。 *実技はA71教室で行います。実技時にジャージを着用していない場合は受講させません。		

科 目	体育Ⅱ	講 師	入江 由香子
授業目標	子どもから成人、高齢者まで誰もが願うことは健康で豊かな生活である。特に子どもの成長著しい時期に、成長や発達を妨げず食事・遊び（運動）・休養（睡眠）・病気にならない身体づくりなどの学びは必要不可欠である。本授業では、健康な子どもを育てるために大切な基本的な心身の発達段階・身体の仕組みと、保育者自身の健康づくりを講義と実技を通して学ぶことを目標とする。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（実技と講義の諸注意、個人票の記入など） 2. 身体の仕組み（骨、筋肉の働き） 3. 身体の仕組み（内臓の働き） 4. 大人と子どもの身体の仕組みの違い 5. 新体力テスト測定の実施（握力、立ち幅跳び、上体おこし、長座位体前屈、閉眼片足立ちなど） 6. 形態測定の実施（身長、体重、体脂肪率、周径囲） 7. ストレッチ体操とエアロビックダンス 8. ヨガ 9. ストレッチとコアトレーニング 10. レポートの作成の諸注意と課題作成（短大レポート）① 11. サーキットトレーニング 12. 課題作成（短大レポート）② 13. 課題作成（短大レポート）③ 14. まとめと定期試験について 15. 定期試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……①短大指定の教科書 ②『健康生活と運動』小笠原正志編 株式会社エスアイエス 参考書 ……なし		
評 価 の 方 法	実技20%（全出席、積極性、意欲、チームワークなど）、レポート課題20%、定期試験60%による総合評価 ＊実技と講義の両方の授業を行います。出席重視のため欠席をしないこと。 ＊実技はA71教室で行います。実技時にジャージを着用していない場合は受講させません。		

科 目	保育原理	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の意義、保育の歴史など保育にかかわる基本的な事項を学ぶ。 ・ 保育環境、保育方法などの保育の展開について学ぶ。 ・ 保育所保育指針における保育の基本について理解する。 ・ 保育の現状と今後の課題について理解する。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育原理の授業の進め方 保育士の一日を知る 2. 子どもを理解する～(1) 事例を通して～ 3. 子どもを理解する～(2) 絵本の読み聞かせを通して～ 4. 保育所、幼稚園、認定こども園の理解(1) 5. 保育所、幼稚園、認定こども園の理解(2) 6. 保育所の目的と役割 7. 保育の方法と内容 8. 保育における環境 9. 子どもの最善の利益を考慮する保育 10. 保育の計画及び評価(1) 指導計画の作成と展開 11. 保育の計画及び評価(2) 保育の記録と評価 12. 保育の思想と子ども観(1) 13. 保育の思想と子ども観(2) 14. 障害をもつ子どもの理解と対応 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園・保育要領』 参考書 ……授業内で配布したプリントはまとめておく		
評 価 の 方 法	出席、授業態度を重視し、定期試験、提出プリント等による総合評価		

科 目	教育原理	講 師	安部 高太郎
授業目標	<p>授業のなかで（主として教育哲学的な観点から）提示される「教育」ならびに「保育」と名指される諸事象に関する知見をもとに、自分の考えを〈原理的〉な視点から深め、それを表現する。なお、本授業は大阪芸大との併修科目であるから、併修レポート作成と筆記試験を念頭に授業を展開する。 *初回の授業で詳細を話す。必ず出席すること。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入：「教育原理」を〈学ぶ〉とはいかなることか？ 2. 大阪芸大併修レポート対策講座① 3. 大阪芸大併修レポート対策講座② 4. 大阪芸大併修レポート対策講座③ 5. 大阪芸大併修レポート対策講座④ 6. 大阪芸大併修レポート対策講座⑤ 7. 大阪芸大併修レポート対策講座⑥ 8. レポート作成時間【各自、レポートを書けるようにテキストや原稿用紙などを持参すること】 9. レポート作成時間【各自、レポートを書けるようにテキストや原稿用紙などを持参すること】 10. レポート作成時間【各自、レポートを書けるようにテキストや原稿用紙などを持参すること】 11. 大阪芸大併修試験対策① 12. 大阪芸大併修試験対策② 13. 大阪芸大併修試験対策③ 14. 大阪芸大併修試験対策④ 15. まとめに代えて：再び「教育原理」が活きる瞬間は本当にあるのか？（もし、あるとすれば…） 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……【大阪芸大指定テキスト】田嶋一 他編（2016）『やさしい教育原理（第3版）』有斐閣（有斐閣アルマ） 参考書……適宜、授業にて提示する。</p>		
評 価 の 方 法	<p>原則として、授業への参加状況ならびにレポートなどから総合的に評価する。なお、詳細は初回の授業にて説明する。</p>		

科 目	児童家庭福祉	講 師	加藤 直子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く現状についての知識を深め、児童家庭福祉の理念である「子どもの最善の利益」の保障についての基本姿勢を学ぶ。 ・児童家庭福祉制度（法体系、関係機関等）への理解を深める。 ・子どもや家庭に対する倫理観を深め、保育者としての専門性を高めていく。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、児童家庭福祉とは、レポートの書き方 2. 子どもを取り巻く現状と「子どもの最善の利益」 3. 児童家庭福祉の歴史と子どもの権利 4. 児童福祉制度（法体系、関係機関） 5. 児童福祉施設(1) 6. 児童福祉施設(2) 7. 里親制度 8. 障害のある子どもの福祉 9. 子どもを取り巻く諸問題 10. ひとり親家庭への援助 11. 子育て支援の目的と施策 12. レポート指導 13. 母子保健について 14. 児童家庭福祉と保育 15. まとめ「保育者の専門性と家庭、関係機関との連携」、レポート指導 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『保育士を目指す人の児童家庭福祉』みらい 参考書……授業時に提示、もしくはプリントを配布</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席状況、受講態度、授業後のリアクションペーパー提出状況等による総合評価</p>		

科 目	社会福祉	講 師	久利 要子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 ・社会福祉と児童福祉及び児童の人権や家庭支援との関連性について理解する。 ・社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 ・社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて理解する。 ・社会福祉の動向と課題について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の理念と概念 2. 社会福祉の歴史の変遷 3. 社会福祉の一分野としての児童家庭福祉 4. 児童の人権擁護と社会福祉 5. 家庭支援と社会福祉 6. 社会福祉の制度と法体系 7. 社会福祉行財政と実施機関 8. 社会福祉施設等 9. 社会福祉の専門職・実施者 10. 社会保障及び関連制度の概要 11. 社会福祉における相談援助の意義と原則 12. 社会福祉における相談援助の方法と技術 13. 社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み 14. 社会福祉の動向と課題 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育士をめざす人の社会福祉』(株)みらい、『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席および受講態度、レポート、試験による総合評価		

科 目	社会的養護	講 師	小出 真由美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護の歴史的背景から、今日の社会的養護の意義を考える。 ・子どもの権利の理解と「子どもの最善の利益」について考える。 ・社会的養護の制度や仕組みについて理解する。 ・社会的養護を必要とする子どもたちについて理解を深める。 ・社会的養護の現状と課題を理解し、児童福祉施設における保育士の意義と役割を考える。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の子どもと子育て家庭を取りまく状況 2. 社会的養護の理念と概念 3. 社会的養護の歴史と子ども観の変遷① 4. 社会的養護の歴史と子ども観の変遷② 5. 児童家庭福祉と社会的養護 6. 子どもの権利擁護と社会的養護 7. 社会的養護の制度と実施体系 8. 家庭的養護と施設養護 9. 社会的養護の専門職 10. 施設養護の基本原理 11. 施設養護の実際とソーシャルワーク① 12. 施設養護の実際とソーシャルワーク② 13. 施設養護の実際とソーシャルワーク③ 14. 社会的養護の課題と展望 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『新 保育士養成講座 第5巻 社会的養護』全国社会福祉協議会 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席、受講態度、レポート、試験による総合評価		

科 目	保育の心理学Ⅰ	講 師	井上 恵理
授業目標	<p>下記4点を授業目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士として必要な心理学の知識を習得する ・各領域（運動、知覚・認知、言語、情緒）の発達のメカニズムについて理解する ・人の発達は、他者との関わりの中で展開していくことを具体的に理解する ・子どもの発達を支援するうえで重要な保育士の関わりについて考察する 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育と心理学 3. 生涯発達と子どもの発達 4. 各領域の発達のメカニズム（運動、知覚・認知、言語、情緒） 5. レポート指導(1) 6. レポート指導(2) 7. 人との相互的関わりと子どもの発達(1) 8. 人との相互的関わりと子どもの発達(2) 9. レポート指導(3) 10. 保育士の関わりと子どもの発達(1) 11. 保育士の関わりと子どもの発達(2) 12. レポート指導(4) 13. レポート指導(5) 14. 試験対策 15. 試験対策 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……併修指定テキスト『たのしく学べる乳幼児の心理 改訂版』福村出版</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出席状況、授業態度、提出物、試験などによる総合評価		

科 目	保育の心理学Ⅱ	講 師	井上 恵理
授業目標	<p>下記4点を授業目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達と保育実践について理解を深める ・生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解する ・保育現場における子どもの発達支援について理解を深める ・発達の連続性の観点から、子どもの発達支援における保育士の役割について考える 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの発達と保育実践 2. 発達過程に応じた保育 3. 身体感覚と環境の相互作用による発達 4. 保育士の関わりと発達 5. 子ども同士のかかわりと発達 6. 個の発達と集団適応 7. 子どもの生活の中での学び 8. 子どもの遊びの中での学び 9. 基本的な生活習慣の獲得と発達援助 10. 主体性を尊重した発達援助 11. 発達の課題に応じた関わり 12. 子どもの発達支援のための協働や連携 13. まとめ(1) 14. まとめ(2) 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『保育の心理学Ⅱ 演習で学ぶ、子ども理解と具体的援助』萌文書林</p> <p>参考書……『たのしく学べる乳幼児の心理 改訂版』福村出版</p>		
評 価 の 方 法	出席状況、授業態度、提出物、試験などによる総合評価		

科 目	子どもの食と栄養	講 師	島村 恵子
授業目標	1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育と発達と食生活の関連について理解を深める。 3. 食育の基本とその内容、食育のための環境を理解する。 4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。 5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。		
授 業 の 画	1. 子どもの心身の健康と食生活について 2. 子どもの食生活の現状と課題 3. 栄養素について、働きと疾病との関係、含有食品など 炭水化物 4. 〃 脂質 5. 〃 たんぱく質 6. 〃 ビタミン 7. 〃 無機質 8. 日本人の食事摂取基準、食品群について 9. 乳汁期の栄養と食生活 10. 離乳期の栄養と食生活 11. 幼児期の栄養と食生活 12. 幼児期の食生活上の問題 13. 施設における食生活、特別な配慮を要する子どもの栄養と食生活 14. 食育の基本と内容 15. まとめ・試験		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『発育期の子どもの食生活と栄養』学建書院 『はじめての食品成分表』女子栄養大学出版部 参考書 ……その時々参考になるものを紹介		
評 価 の 方 法	出席、レポート、試験による総合評価		

科 目	保育内容総論	講 師	中村 悦子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針を基に保育全般を知る。 ・ 子どもの生活全体を通し、養護と教育が一体的に展開していくことを学ぶ。 ・ 多様化する社会情勢の中での保育所の在り方、役割を知る。 ・ 身近に起きている虐待を考える。 ・ 手遊び、絵本、読み聞かせ等々実技を学ぶ。 ・ 子育てに不安を抱えている地域社会への子育て支援について学ぶ。 		
授 業 の 画	1. オリエンテーション（授業の進め方や授業態度） 2. 保育所指針にふれる「保育所」「幼稚園」 3. 保育所指針から① 4. 保育所指針から② 5. } 子どもの発達 6. } 7. } 8. } あそび 9. } 10. } 11. 発達発表 12. 子どもになって体験しよう 13. 虐待の現状 14. 地域の子育て支援 15. テスト		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所保育指針』チャイルド社 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度重視、出欠席、提出物、授業内でのテストの総合評価		

科 目	保育表現技術・楽典	講 師	国友 真知子
授業目標	・音楽の基本的な構成要素を理解する。 ・楽譜の読み方とピアノ演奏の基礎を学ぶ。 ・簡単な合奏・合唱を通して、子どもたちと音楽を分かち合うために何が必要か考察する。		
授業の画	1. 音の高さについて 2. 音の長さについて 3. 拍子・リズムについて 4. ピアノ演奏の基礎① 5. 調性について 6. ピアノ演奏の基礎② 7. 音程について 8. 和音について① 9. 和音について② 10. 子どもの歌の伴奏① 11. 子どもの歌の伴奏② 12. 音楽用語と記号 13. 合奏・合唱 14. まとめ 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 適宜プリントを配布 参考書……『始めよう！弾き歌い』・ピアノ教本など、授業時に指示		
評価の 方 法	出席状況、受講態度、提出物、試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノ I	講 師	上田 亜津子・浦 啓子 国友 真知子
授業目標	・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（へ音記号導入以上を目安とする）。 ・簡単な子どもの歌を弾き歌いできるようにする。 ・楽しい生き生きとした音楽表現を目指してピアノの練習を日々心掛ける。 ・毎回の個人レッスンについて、レッスン・進度表に記入していく。 （備考）経験者については初心者と同じ曲から始めて、自分のテクニクを確認しつつ、さらにピアノⅡの内容に進んで下さい。		
授業の画	1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：導入～両手で弾く（全音符・4分音符・2分音符・付点・休符について） 3. ♪：拍子記号・リピート記号 4. ♪：異なる左右の指の動き 5. ♪：スラー（滑らかなフレージングの演奏）の表現 6. ♪：タイの奏法 7. ♪：8分音符の導入 8. ♪：8分音符の導入 9. ♪：付点4分音符・8分音符の奏法 10. ♪：大譜表、へ音記号の読み方 11. ♪：大譜表、へ音記号の読み方 12. ♪：「むすんでひらいて」を弾いてみよう 13. ♪：ハ長調の弾き歌い演習 14. ♪：実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験		
教科書 及び 参考書	教科書……『おとなのためのバイエル教本』ドレミ楽譜出版社 『こどものうた100』チャイルド本社 参考書……特に指定なし		
評価の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形 I	講 師	廣田 篤憲
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの造形活動について理解し、その基本的知識を学ぶ。 ・絵画的造形製作の意義とその目標について理解する。 ・画材と題材について学習し、その技術を習得する。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育における造形表現の意味、造形表現の基礎知識（色彩、画材などの基本知識） 2. 鉛筆デッサン基礎、明度のグラデーションから立体表現 3. 造形表現の発達論と立体表現 4. クレヨン画基礎 5. ひっかき絵（スクラッチ）、はじき絵 6. クレヨンでポスターを作る 7. デカルコマニー、絵の具の軌跡（偶然からできる作品で遊ぶ） 8. しわくちゃのクラフト紙に水彩絵の具で絵を描こう（紙で遊び、触感などを楽しむ） 9. 絵肌作りからコラージュへ（準備と創作） 10. 子どもの描画の特徴とその背景 11. マーブルリング（流し絵）、フロタージュ 12. シャボン玉で作る水玉模様 13. 野菜でスタンプ（野菜の切り口など、形の面白いものを見つけてスタンプあそび） 14. 点・線を使って描いたものから、何かを見つけて絵に仕上げよう 15. 色水あそび（色水を作って光をあてて色の光りあそび） 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育をひらく造形表現』萌文書林 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	作品、出席状況による総合評価（作品は全作品提出が単位取得の最低条件です）		

科 目	保育表現技術・声楽 I	講 師	木下 裕子			
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数々の子どもの歌を通して、歌う事の楽しさを自ら体験出来るよう練習します。 ・正しい呼吸法、発声法を身につけていきます。 ・音程、リズムのとり方を学んでいきます。 ・ハーモニーの体験から、同時に響く相手の声を聞く感覚を養います。 ・歌唱指導法を学んでいきます。 					
授 業 の 画 計	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歌の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top; text-align: center;"> 子どもの歌の歌唱練習 ↓ テスト 課題曲の発表とその練習 ↓ 期末テスト テストについての所見とレベルアップへの方法 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top; text-align: center;"> ソルフエージュ ↓ </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ 	子どもの歌の歌唱練習 ↓ テスト 課題曲の発表とその練習 ↓ 期末テスト テストについての所見とレベルアップへの方法	ソルフエージュ ↓
<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ 	子どもの歌の歌唱練習 ↓ テスト 課題曲の発表とその練習 ↓ 期末テスト テストについての所見とレベルアップへの方法	ソルフエージュ ↓				
教科書 及び 参考書	教科書 ……『ポケットいっぱいのおうた』教育芸術社 参考書 ……特に指定なし					
評 価 の 方 法	実技試験と受講態度、出席による総合評価					

科 目	保育表現技術・ピアノⅡ	講 師	上田 亜津子・国友 真知子 山崎 洋子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノⅠに引き続き、ピアノの基礎表現技術を学んでいく。 ・現場で使える生活の歌や童謡の弾き歌いレパートリーを増やしていく。 ・日々の自己練習を積み重ねることで、個人レッスンで音楽表現の楽しさや共有する喜びを体験する。 ・毎回の個人レッスンについて、レッスン・進度表に記入していく。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：大譜表、へ音記号の復習 3. 〃 ：跳躍するメロディーの指の使い方（指替え、指広げ等） 4. 〃 ：ハ長調の音階練習 5. 〃 ：3連符と16分音符 6. 〃 ：イ短調の音階 7. 〃 ：ト長調の音階と曲 8. 〃 ：ト長調の童謡 9. 〃 ：ニ長調の音階と曲 10. 〃 ：ニ長調の童謡 11. 〃 ：ヘ長調の音階と曲 12. 〃 ：ヘ長調の童謡 13. 〃 ：生活の歌 14. 〃 ：実技試験の曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』、『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形Ⅱ	講 師	高木 秀文
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の発達段階に見られる特徴的で独特な表現の形（なぐり描き、見立て、頭足人、ら列、展開表現）を模擬的に体験して、この時期の造形活動への理解と興味を深める。 ・一方、保育現場で応用の出来る実践的な制作課題を用意して各々の造形実習レベルを強化していく。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「ガイダンス」授業内容、評価、用具教材について。他、児童画鑑賞コメント。 2. 「児童の表現」幼児期の描画を模擬的に体験する。 3. 「児童の表現2」幼児期の描画を模擬的に体験する。 4. 「お話の絵」むかし話を読み、その中の一場面を絵に描く。 5. 「お話の絵2」むかし話を読み、その中の一場面を絵に描く。 6. 「児童の表現3」幼児期の描画を模擬的に体験する。 7. 「表現の類型復習」前半で行った幼児期の表現に関するテスト形式の復習。 8. 「表情表現の工夫」顔面にとどまらず身振りや動作で感情を絵画表現する。 9. 「貼り絵人形作り」性別、年齢、名付けをしてヒト型キャラクターを作る。 10. 「貼り絵人形作り2」複数の人形を作り情景や物語背景を考える。 11. 「各種表現技法」幼児期に適した絵の具やパス類を用いた技法を体験、理解する。 12. 「各種表現技法2」幼児期に適した絵の具やパス類を用いた技法を体験、理解する。 13. 「各種工作」主に紙粘土・色紙を使った工作を行う。 14. 「各種工作2」主に紙粘土・色紙を使った工作を行う。 15. 「表現技法の理解」後半で行った表現技法に関するテスト形式の復習。 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『絵画・製作・造形あそびカンペキBOOK』ひかりのくに 参考書 ……『保育をひらく造形表現』萌文書林		
評 価 の 方 法	出席状況・テスト・受講態度による総合評価		

科 目	実習基礎技能Ⅰ	講 師	鈴木 八重子・阿久津 撰 安部 高太郎
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育現場で求められるマナー、子どもの見方、保育者の意図等について知る。 ・ 保育者としての職業意識を養う。 ・ 保育者の仕事の内容を理解する。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育所の一日を理解する・保育現場での活動に向けて 3. 保育指針・保育内容の理解・園長先生の講義(1) 4. 保育指針・保育内容の理解・園長先生の講義(2) 5. 保育所見学ガイダンス 6. 保育所見学(1) 7. 保育所見学(2) 8. 保育所見学の振り返り 9. 保育現場での活動に向けてのガイダンス(1) 10. 保育現場での活動に向けてのガイダンス(2) 11. 保育現場での活動(1) 12. 保育現場での活動の振り返り 13. 保育現場での活動(2) 14. 保育現場での活動(3) 15. 保育現場での活動の振り返り 		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、提出物等による総合評価		

科 目	実習基礎技能Ⅱ	講 師	鈴木 八重子・阿久津 撰 安部 高太郎
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの保育現場活動を通して課題・目標を明らかにする。 ・ 保育者の意図を意識し、保育現場活動に取り組む。 ・ 保育者としての職業意識を養い、高める。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 今までの保育現場での活動を振り返る。 3. 保育指針・保育内容の理解・園長先生の講義(1) 4. 保育指針・保育内容の理解・園長先生の講義(2) 5. 様々な保育形態、保育方針を理解する。 6. 保育所見学(1) 7. 保育所見学(2) 8. 保育所見学の振り返り 9. 保育現場での活動に向けてのガイダンス(1) 10. 保育現場での活動に向けてのガイダンス(2) 11. 保育現場での活動(1) 12. 保育現場での活動の振り返り 13. 保育現場での活動(2) 14. 保育現場での活動(3) 15. 現場活動での振り返り 		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、提出物等による総合評価		

科 目	キャリアデザインⅠ	講 師	菊池 一英
授業目標	・「自分らしい生き方」(キャリア)を探し出します。 ・諸先輩方のキャリアを学びます。 ・実習就職というキャリアについて学びます。		
授 業 の 画	1. キャリアデザインとは 2. 実習・就職計画ガイダンス 3. ボランティア、アルバイト、資格、公務員テスト証明写真について 4. 実習というキャリア 5. 実習の実際について①(保育所) 6. 実習の実際について②(施設) 7. 実習実技① 8. 実習実技② 9. キャリアをめぐる(先輩のキャリアを学びます) 10. 保育現場から学ぶ(ビデオ学習) 11. 就職というキャリアa(マナー研修) 12. 就職というキャリアb(自己紹介他) 13. 就職というキャリアc(入退出他) 14. 履歴書について 15. 前期を振り返って(作文)		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席率、提出物、受講態度により評価します		

科 目	教育課程総論	講 師	安部 高太朗
授業目標	平成29年告示の幼稚園教育要領および保育所保育指針等を踏まえながら、保育における〈計画〉の捉え方・その射程、その歴史的な変遷を理解するとともに、自分なりに考えをまとめ、表現することを目標とする。なお、本授業は大阪芸大との併修科目であるから、その点を念頭に授業展開する。 *初回の授業で詳細を話すので、必ず出席すること。		
授 業 の 画	1. 導入 2. 大阪芸大併修レポート対策講座① 3. 大阪芸大併修レポート対策講座② 4. 大阪芸大併修レポート対策講座③ 5. 大阪芸大併修レポート対策講座④ 6. 大阪芸大併修レポート対策講座⑤ 7. 大阪芸大併修レポート対策講座⑥ 8. レポート作成時間【各自、レポートを書けるようにテキストや原稿用紙などを持参すること】 9. レポート作成時間【各自、レポートを書けるようにテキストや原稿用紙などを持参すること】 10. レポート作成時間【各自、レポートを書けるようにテキストや原稿用紙などを持参すること】 11. 大阪芸大併修試験対策① 12. 大阪芸大併修試験対策② 13. 大阪芸大併修試験対策③ 14. 大阪芸大併修試験対策④ 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書……【大阪芸大指定テキスト】 参考書……適宜、授業にて提示する。		
評 価 の 方 法	原則として、授業への参加状況ならびにレポートなどから総合的に評価する。なお、詳細は初回の授業にて説明する。		

科 目	国語	講 師	原 善
授業目標	併修レポート作成に備えるべく、論理的な文章表現力の基礎を身につけてもらうことと、日本の児童文学の諸問題についての知識を確かなものとするを第一の目的にしながら、幼児の言葉の獲得を援助しようとする者として、自身が運用する言葉に対する確かな認識を育ててもらいたい。さらには、卒業後に良き社会人となるためのキャリア開発の支援としても位置づけたいと考えている。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・レポートの書き方(1) 2. レポートの書き方(2)引用の仕方 3. 言葉の力 4. 話し言葉と書き言葉の違い 5. オノマトペの功罪 6. 現代児童文学の成立 7. 絵本と幼年童話 8. 戦争児童文学 9. 児童文学とジェンダー 10. 巖谷小波と小川未明 11. 宮沢賢治と新美南吉 12. 椋鳩十と佐藤さとる 13. 金子みすゞと谷川俊太郎 14. 比喩的発想法について 15. 論理的な文章のために 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……併修テキスト『アプローチ児童文学』翰林書房 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	レポート、毎回の課題提出、授業への参加度		

科 目	保育に生かすやさしい手芸	講 師	酒井 暢子・高田 ちとせ
授業目標	軍手やフェルトなどで簡単に仕上がる作品づくりを通して、糸針仕事の練習をします。玉留めや並縫いなど、手縫いの初歩の段階から説明しますので、針を持つのが不慣れな人も楽しみながら作ることができます。また、作品の生かし方や応用のアイデアもご紹介します。人形の演じ方や遊び方の演目を参考に、自分で作った人形を実際に動かしてみましょ。う。「これができたら子どもたちと楽しめそう！」という気持ちを原動力に、手芸に親しんでほしいと思っています。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手縫いの基礎①「ひまわりブローチ」制作 2. 「10匹こぶた」制作① 3. 「10匹こぶた」制作② 演じ方 4. 手縫いの基礎②「指かえる」制作① 5. 「指かえる」制作② 演じ方 6. 「ハンカチ人形」制作① 7. 「ハンカチ人形」制作② 演じ方 8. 「カップさる」制作① 9. 「カップさる」制作② 演じ方 10. 「あおむし」制作① 11. 「あおむし」制作② 演じ方 12. 演技発表① 13. 「ミトンくま」制作① 14. 「ミトンくま」制作② 演じ方 15. 演技発表② 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 授業時に資料を配布 参考書 ……『手ぶくろ人形の部屋』高田千鶴子／著 偕成社／刊		
評 価 の 方 法	受講態度と出席を重視。作品提出、レポート等による総合評価		

科 目	クラスルーム／併修学習 I a (前期) I b (後期)	講 師	鈴木 八重子		
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項を聞き、自分に必要なことを知りふさわしい行動をする。 ・クラス活動を通して保育者に必要とされるコミュニケーション能力、行動力、協調性等を養う。 ・幼稚園教諭免許状取得に向け併修学習を促進する。 				
授 業 の 画 計	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (前期) 1. コミュニケーションプログラム(1) 2. キャンパスツアー 3. 学生便覧・幼稚園教諭免許取得 4. キャリアカード記入・証明写真撮影 5. コミュニケーションプログラム(2) 6. 個人面談・併修学習(1) 7. 保育の現場での活動振り返り(1) 8. 個人面談・併修学習(2) 9. 個人面談・併修学習(3) 10. 個人面談・併修学習(4) 11. 個人面談・併修学習(5) 12. 学校行事のガイダンス・企画 13. 前期試験に向けてのガイダンス 14. 保育の現場での活動振り返り(2) 15. 夏季休暇の過ごし方・振り返り </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画(1) 3. 学校行事の企画(2) 4. 学校行事の準備(3) 5. 学校行事の準備(4) 6. 学校行事の準備(5) 7. 学校行事の準備(6) 8. コミュニケーションプログラム(3) 9. 保育の現場での活動振り返り(3) 10. 併修学習・短大試験対策(1) 11. 併修学習・短大試験対策(2) 12. 併修学習・短大試験対策(3) 13. 併修学習・短大試験対策(4) 14. 保育の現場での活動振り返り(4) 15. 試験・卒業・資格・免許取得の確認 </td> </tr> </table>			(前期) 1. コミュニケーションプログラム(1) 2. キャンパスツアー 3. 学生便覧・幼稚園教諭免許取得 4. キャリアカード記入・証明写真撮影 5. コミュニケーションプログラム(2) 6. 個人面談・併修学習(1) 7. 保育の現場での活動振り返り(1) 8. 個人面談・併修学習(2) 9. 個人面談・併修学習(3) 10. 個人面談・併修学習(4) 11. 個人面談・併修学習(5) 12. 学校行事のガイダンス・企画 13. 前期試験に向けてのガイダンス 14. 保育の現場での活動振り返り(2) 15. 夏季休暇の過ごし方・振り返り	(後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画(1) 3. 学校行事の企画(2) 4. 学校行事の準備(3) 5. 学校行事の準備(4) 6. 学校行事の準備(5) 7. 学校行事の準備(6) 8. コミュニケーションプログラム(3) 9. 保育の現場での活動振り返り(3) 10. 併修学習・短大試験対策(1) 11. 併修学習・短大試験対策(2) 12. 併修学習・短大試験対策(3) 13. 併修学習・短大試験対策(4) 14. 保育の現場での活動振り返り(4) 15. 試験・卒業・資格・免許取得の確認
(前期) 1. コミュニケーションプログラム(1) 2. キャンパスツアー 3. 学生便覧・幼稚園教諭免許取得 4. キャリアカード記入・証明写真撮影 5. コミュニケーションプログラム(2) 6. 個人面談・併修学習(1) 7. 保育の現場での活動振り返り(1) 8. 個人面談・併修学習(2) 9. 個人面談・併修学習(3) 10. 個人面談・併修学習(4) 11. 個人面談・併修学習(5) 12. 学校行事のガイダンス・企画 13. 前期試験に向けてのガイダンス 14. 保育の現場での活動振り返り(2) 15. 夏季休暇の過ごし方・振り返り	(後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画(1) 3. 学校行事の企画(2) 4. 学校行事の準備(3) 5. 学校行事の準備(4) 6. 学校行事の準備(5) 7. 学校行事の準備(6) 8. コミュニケーションプログラム(3) 9. 保育の現場での活動振り返り(3) 10. 併修学習・短大試験対策(1) 11. 併修学習・短大試験対策(2) 12. 併修学習・短大試験対策(3) 13. 併修学習・短大試験対策(4) 14. 保育の現場での活動振り返り(4) 15. 試験・卒業・資格・免許取得の確認				
教科書 及び 参考書	教科書……特になし 参考書……特になし				
評 価 の 方 法	出席状況による評価				